

コロナ禍のアジア・アフリカにおける 高齢者の生存

地域社会と保健システムを模索する

増田研・林玲子・菖蒲川由郷・堀井聡子・野村亜由美・宮地歌織・吉野龍史

第36回日本国際保健医療学会学術大会

2021年11月28日

高齢化課題へ近年の取り組み

日本国際保健医療学会において、近年、高齢者課題に関する報告が増加傾向にある。

第32回日本国際保健医療学会（グローバルヘルス合同大会2017）
シンポジウム「日本とアジア諸国の高齢化対策連携の模索」
2017年11月26日（日）

第35回日本国際保健医療学会（グローバルヘルス合同大会2020）
シンポジウム「世界とつながる持続可能な高齢化対策」
2020年11月2日

GASG自由集会「グローバルエイジングへの国境なき挑戦」

2012年 第27回（岡山大学）
2013年 第28回（名桜大学）
2014年 第29回（東京女子医科大学）
2015年 第30回（金沢大学）
2016年 第31回（久留米シティプラザ）
2017年 第32回（東京大学）
2018年 第33回（津田塾大学）
2019年 第34回（三重大学）

2012-2015 厚生労働省地球規模保健課題推進研究
「グローバルエイジングへの国境なき挑戦—経験の共有と尊重を支える日本発学際ネットワークによる提言に関する研究」（代表：田宮菜奈子）

2013-2016 基盤研究（B）
「東アフリカにおける「早すぎる高齢化」とケアの多様性をめぐる学際的研究」（代表：増田研）

2018-2022 基盤研究（A）
「東アフリカにおける未来の人口高齢化を見据えた福祉とケア空間の学際的探究」（代表：増田研）

2013-2018 基盤研究（B）
「津波被災後の高齢者の外傷後成長と認知症に関する学際的研究：老いの成熟を目指して」（代表：野村亜由美）

2020-2023 基盤研究（C）
「津波被災後のスリランカにおけるケア実践の回路：認知症をめぐる宗教と生の生態学」（代表：野村亜由美）

2019-2022 挑戦的研究（萌芽）
「サハラ以南アフリカ地域における都市部高齢者の課題と政策研究」（代表：山本秀樹）

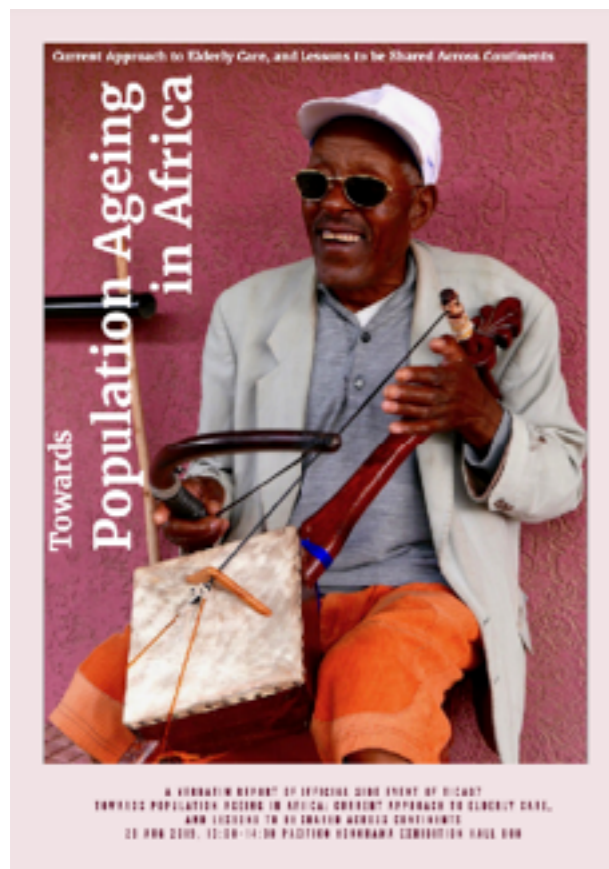
Global Ageing Study Group

Concept of the Research Project Members and Institutions Publications Workshop



Global Ageing Study Group

<http://global-ageing.org/>



TICAD 7 公式サイドイベント (2019)

Towards Population Ageing in Africa

Current Approach to Elderly Care, and Lessons to be Shared Across Continents



アジアの人口ピラミッド 2020-2070 (UNデータに基づく)

ASIA 2020

男性 8.0%

女性 9.7%

総人口 46億人

ASIA 2070

男性 21.4%

女性 24.2%

総人口 52億人



アフリカの人口ピラミッド 2020-2070 (UNデータに基づく)

SSA 2020

男性 2.6%

女性 3.4%

総人口 11億人

SSA 2070

男性 11.9%

女性 14.1%

総人口 38億人



本シンポジウムで取り上げる国々の COVID-19感染状況

WHO COVID-19 Explorer (As of Nov. 26)
<https://worldhealthorg.shinyapps.io/covid/>

ベトナム

感染者数：1,155,778
死亡者数：24,243

10,000 cases



ミャンマー

感染者数：551,731
死亡者数：19,049

2,000 cases



スリランカ

感染者数：559,605
死亡者数：14,205

2,000 cases



ケニア

感染者数：254,816
死亡者数：5,332

1,000 cases

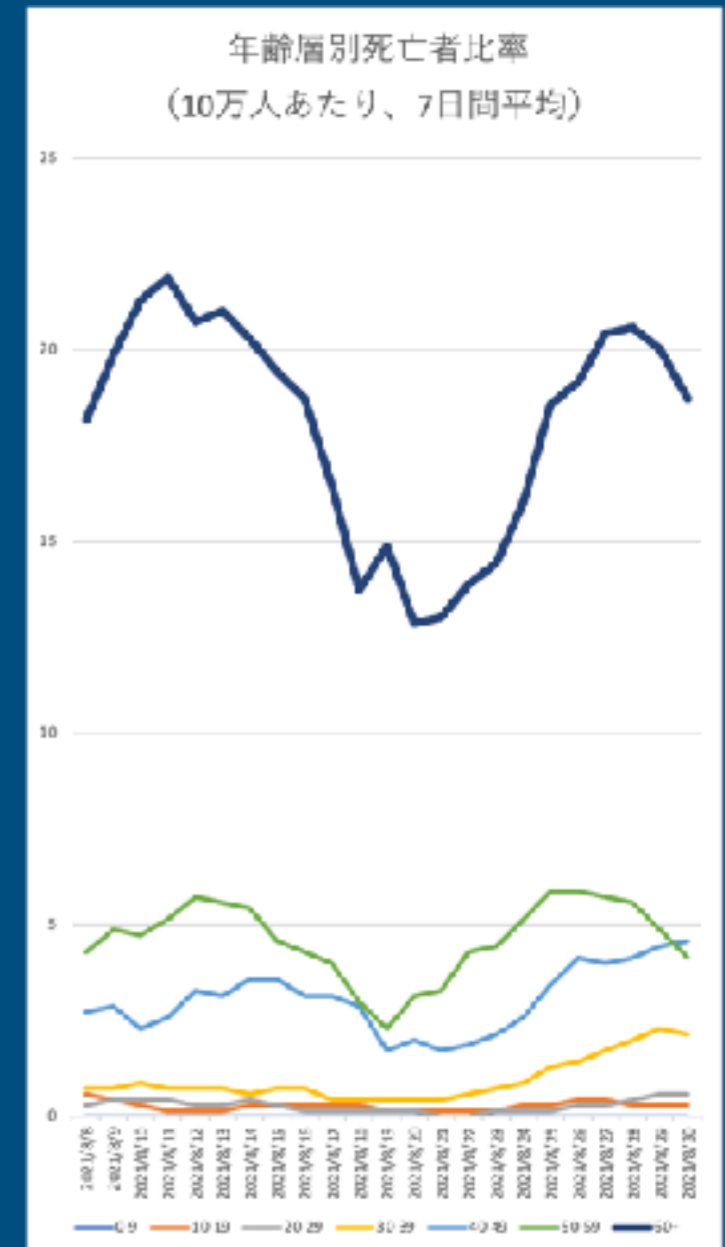


シンポジウムの趣旨

- 世界的に長寿化が進み、高齢化率の上昇をみている現在、高齢者課題は国際保健医療学の重要なテーマとなりつつある。
- 医療と福祉の総合的課題であるこの高齢者課題のなかでも、とりわけ、**COVID-19感染拡大が続く開発途上国において高齢者が抱える課題を理解することは必須**であろう。
- この感染症がもたらした医療崩壊や経済的苦境は、**社会から周辺化されやすいとされる高齢者の暮らしと健康**を脅かしかねない。
- 本シンポジウムでは、ミャンマー、ベトナム、スリランカ、ケニアから5件の報告を集め、高齢者の生存を担保する地域社会と保健システムの在り方を考えたい。

ケニアにおける年齢層別志望者比率
2021年8月

ケニア保健省の公開情報に基づいて算出



菖蒲川由郷

感染症災害と人道的災害下におけるミャンマーの高齢者の健康

宮地歌織

ケニア農村における高齢化と女性
HDSSの活用と人類学的調査より

吉野龍史

ケニアにおける高齢者の暮らしと社会福祉

堀井聡子

高齢化するベトナムの看護教育

野村亜由美

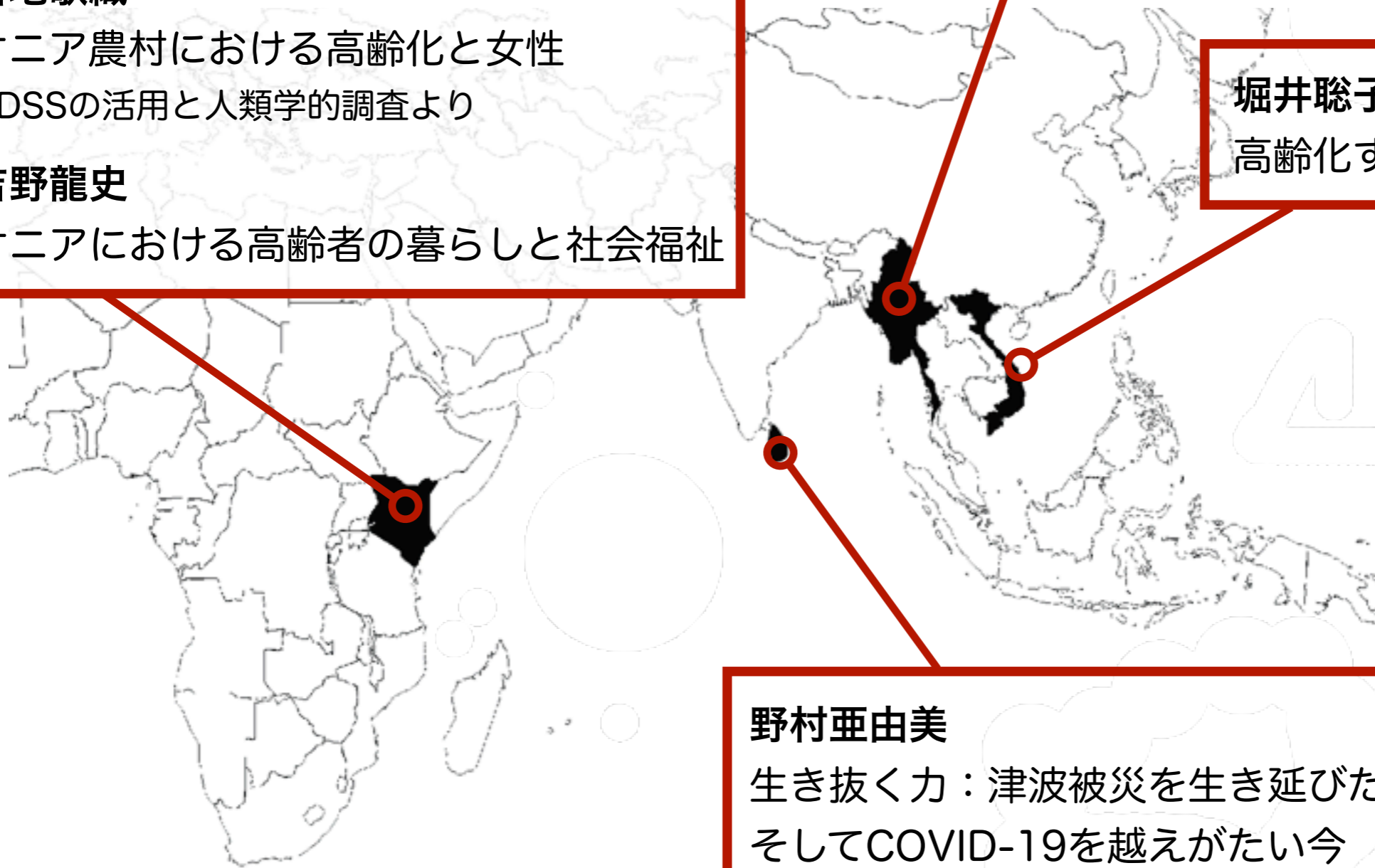
生き抜く力：津波被災を生き延びた高齢者、
そしてCOVID-19を越えがたい今

林玲子

コメント



質疑応答



進行

14:15-15:15 研究発表 5人

15:15-15:25 コメント (林玲子)

15:15-15:40 Q&Aとディスカッション

質問およびコメントをQ&A欄からお寄せください。

本シンポジウムでは、現在進行中の感染状況、研究途上のデータ、フィールドの人々の写真などが提示されます。スクリーンショットの撮影は厳に慎んでください。